

授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：超高齢社会の地域課題・政策 - 医療・健康から考える -		担当者所属 職名・氏名	医学研究科 教授 今中 雄一
	ILAS Seminar :Medical and Health Issues & Policies in Super-aged Communities			医学研究科 助教 大坪 徹也 医学研究科 特定講師 佐々木 典子

群	少人数群	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール
開講年度・開講期	2016・前期集中	受講定員 (1回生定員)	20 (15) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	集中 9月上旬～中旬	教室	未定 (医・薬・病院構内)			使用言語	日本語

キーワード 地域 / 医療介護 / 健康 / まちづくり / 京都

[授業の概要・目的]

京都府は、府内の地域間の特徴の差が大きな府県の一つである。医療・健康について、京都府の各地域の実態を把握し、地域の課題や解決策を検討する。京都府は、我が国で人口当たりの医師が最も多いが、京都市に集中しており北部では多いとは言えない。医療資源の分布の偏りのみならず、地域それぞれの特徴をもっている。一方で、特徴ある各地域を擁する京都府は、超少子・超高齢社会が進んでいく我が国全体の縮図のようになっている。また、京都府では、伝統を持った各地域におけるまちづくりの力（潜在力を含む）が強く、今後の超少子・超高齢社会における地域づくりの模範となる、高い可能性を有している。当授業では、各地域における医療、保健、介護の実態や、地域の社会・経済の実態を、データや実地調査などを通じて把握し、それらの関係性を検討し、まちづくり・まちおこしや諸施策と健康・医療との関係を、学び調べ考える。

本授業は、文部科学省「地(知)の拠点整備事業（大学COC事業）」（京都学教育プログラム）における「まなびよし」として開講されるものである。

[到達目標]

地域の社会・経済的な特徴と医療・保健・介護とを調べ、把握し、それらの関係性を検討することができるようになる。その過程で、超高齢社会の課題と解決策に関し、洞察力、創造力、問題解決力を強化する。

- 医療、保健、介護の地域性を、客観的データから把握できている。
- 医療、保健、介護や地域の社会・経済などに関する情報・データの収集や分析を開始することができるようになる。
- 医療、保健、介護と、地域の社会・経済等諸因子との関係の検討を開始することができるようになる。

[授業計画と内容]

- 医療、保健、介護の地域性を、データから学ぶ。
- 医療、保健、介護の地域性を、実地の調査（インタビューや見学を含む）から学ぶ。
- 地域の経済性を学ぶ。
- 医療、保健、介護や地域の社会・経済などに関する情報・データの収集や分析の方法を学ぶ。
- 医療、保健、介護と、地域の社会・経済等諸因子との関係を検討する。

< 授業スケジュール >

9月上旬～中旬に、講義2日（5コマ/日）、実習1日を予定。

27年度の例

ILASセミナー：超高齢社会の地域課題・政策・医療・健康から考える・(2)

講義 9月9日(水)、10日(木)
実習 9月15日(火) マイクロバスで丹後に移動

[履修要件]

興味をもって熱心に受講する者。理系学生でも文系学生でも可。

[成績評価の方法・観点及び達成度]

レポート(50点)と調査活動・発表(50点)により評価する。

[教科書]

資料等を適宜配布する。

[参考書等]

(参考書)

『医療制度・医療政策・医療経済』(丸善出版) ISBN:978-4621084946 『医療安全のエビデンス』(医学書院) ISBN:978-4260127318 『病院の教科書』(医学書院) ISBN:978-4260005951 『Handbook of Health Services Research』(Springer Science+Business Media) ISBN:978-1461446583

[授業外学習(予習・復習)等]

実地の調査(インタビューや見学を含む)を行う。

[その他(オフィスアワー等)]

実地の調査で交通機関を利用して学外へ行く予定があるため、「学生教育研究災害障害保険」等に必ず加入すること。